

カトリック医師会 東京支部 公開講座 2020年『感染症と差別・偏見』シリーズ

『HIV/エイズとスティグマ』

講師：NPO 法人ふれいす東京 代表 生島 翔

3月8日(日)14:00-15:30

ニコラ・バレ修道院 105号室（四ツ谷駅徒歩1分）



新しい抗HIV薬の登場で、HIV/エイズは早死にする病気から長期間療養する病気になりました。HIV感染者と非感染者は共生する時代になりました。しかしHIV感染者のことはどれくらい理解されているでしょうか。彼らの属性や背景、そして悩み・苦しみについて学びます。

【講師プロフィール】

生島 翔 (いくしま ゆづる)

1995年からふれいす東京の職員となり、2012年より代表を務める。相談員(社会福祉士)として、数人の相談員とともに年間500人を超えるHIV陽性者、パートナー、家族からの相談を受けています。研究活動としては、HIV陽性者の社会生活、就労、メンタルヘルス、男性同性間の予防啓発などをテーマにしている。

現在の主な役職は、厚生労働省エイズ動向委員会委員、日本エイズ学会理事、東京都エイズ専門家会議委員、財団法人友愛福祉財団理事、エイズ予防財団同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業推進協議会委員、新宿区AIDS/HIV関係機関ネットワーク連絡会委員、東京障害者職業センター雇用サポート事業登録専門家など

- ◆ 参加費：1,500円
- ◆ 参加申込：不要
- ◆ 主催：カトリック医師会 東京支部
- ◆ 問い合わせ：事務局電話：090-5418-3949 メール：jcma2017@yahoo.co.jp
- ◆ その他：講演後、15:00-15:30 茶話会があります。